

平成27年度 部局長マネジメント方針

よしはら かずし
消防局総務部長 吉原 和司



仕事に対する基本姿勢

近年、毎年のように大規模な火災や自然災害が発生しておりますが、近い将来南海トラフ巨大地震の発生も危惧されております。

このような状況にあって、防災活動拠点である消防署所の耐震化や地域防災力の中核である消防団の強化が重要となっております。

一方、消防力は、常備消防の職員の能力に負うところが大きいです。このことから、複雑多様化する災害に的確に対応できる職員を育成し、消防施設の充実とあわせ、より強固な消防体制を構築する必要があります。

したがって、消防局では、次の項目を重点課題として取り組み、消防団とともに「安全安心なまちづくり」を推進し、「市民生活の安全確保」に努めてまいります。

平成26年度の振り返り

昨年度は、西消防署の建設工事の着手や中新開、若江、足代出張所の耐震化に係る設計など、平成27年度中の防災関連施設の耐震化に向けた事業を進めました。

また、消防団の車載無線機及び携帯無線機を整備し、災害現場における効果的な活動を確立するなど消防団の活動体制の強化を図りました。

平成27年度に取り組む重点課題

1 西消防署の建替え

昭和38年に建築された西消防署にあっては著しく老朽化が進んでいることから、南海トラフ巨大地震等の発生に備え、防災活動拠点としての機能を確保するため、平成29年度の竣工に向け、引き続き建設工事を進めます。

【庁舎の完成イメージ図】



2 出張所の耐震化

耐震性に問題のある中新開出張所、若江出張所及び足代出張所の耐震改修工事を行います。

3 消防団の充実強化

- ・ 地域防災力として重要な役割を担う消防団の活動拠点である消防団屯所の整備を、地元の協力を得て建替えていきます。
- ・ 現場活動時における消防団員の安全確保のため、装備を充実強化していきます。

4 高機能消防指令センターの強化

I C Tの先端技術を駆使した最新鋭の通信システムの構築により、消防指令センターからの出動部隊に対する情報支援体制を強化するなど、災害現場での指揮体制の充実強化を図るため、高機能消防指令センターの更新に係る基本計画を策定します。

5 人材育成の推進

近年の大量退職に伴う新規採用職員の増加により、職員の若年化が進んでいます。このことから、厳正な規律のもと、東大阪市を愛する心を育み、広い視野と専門的知識を有する職員の養成を図るとともに、経験豊かな職員が持つ実戦的技術の若い職員への伝承に努め、高度化する予防行政や複雑多様化する災害に対応できる人材の育成を推進します。